

# ふくい型健康100歳プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	平井 芳和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、補助										事業 開始 年度			R3 年度 経過年数 1 年
補助率	10/10													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 人生100年時代の健康ライフスタイル ]				関連する県の計画等		[ 元気な福井の健康づくり応援計画 ]							
[解決すべき問題・課題]														
<p>本県の健康寿命の伸びはH22～H28で+0.47 (H22 81.43歳→H28 81.90歳) であり、全国の伸び+0.99歳 (H22 80.67歳→H28 81.66歳) と比べ少なく、伸び悩んでいる。健康寿命の延伸のためには、若いころからの丈夫な骨づくりの推進と働き世代の生活習慣の改善が必要である。</p>														
[事業目的]														
<p>人生100年時代に向け、現役世代からの健康づくりを推進するとともに、食生活の改善や運動の習慣化など個人の生活スタイルにあわせた健康づくりに取り組む県民のさらなる増加を目指す。</p>														
[事業内容]														
<p>(1) 凶生100年時代に向けた県民健康調査 (R3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民一人ひとりが健康を意識し、主体的に健康づくりを実践できる環境にするため、国が実施する国民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査とあわせ、県で追加的に調査を実施</li> </ul> <p>(2) 地域・職域での健康づくりを推進</p> <p>①地域における健康づくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大豆・大豆製品を使用したレシピを「ふくい100彩ごはん」として公表し、味の素とのコラボレシピ「ふくい×勝ち飯」とともに普及</li> <li>・ 買い物のついでに歩く機会を創出し、運動習慣の定着を推進</li> </ul> <p>②職域における健康づくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食生活改善推進員が事業所を訪問し、「ふくい100彩ごはん」の普及により食生活改善を推進</li> <li>・ 日本生命と連携し、企業対抗の「バーチャルウオーキング大会」を開催</li> </ul>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい型健康づくり推進プロジェクト (実績) ・健康づくり実践事業所の認定(67事業所) ・商業施設のウオーキング環境整備(3施設) ・大豆・大豆製品を活用したレシピ収集(170種類)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況								

# ふくい型健康100歳プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	平井 芳和					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	10/10															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	21,366	7,329			14,037		国民健康・栄養調査委託料 4,625千円 歯科疾患実態調査委託料 1,735千円 感染症予防事業費等国庫補助金 969千円									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						21,366										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) 実績	182.5人 181.9人	179.1人	175.8人	172.4人	162.0人	—	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%減)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R3:172.4人 → R6:162.0人							
活動指標		(目標) 実績														
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	平井 芳和	
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	20 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[ 安心を高める(地域力) ]			関連する県の計画等		[ 第3次医療費適正化計画 ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>後期高齢者の健診受診率は、第3次医療費適正化計画で県が掲げる目標値(70%)に乖離している状況。 継続的に後期高齢者の健診受診を促進し、病気の発症、重症化を予防し、健康を保持して要介護状態とならないようにすることが重要である。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>後期高齢者の保険者である広域連合が実施する保健事業に対し支援することで、後期高齢者の健康を増進し、健康長寿につなげる。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>後期高齢者医療被保険者を対象として、福井県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査・歯科健康診査に係る費用の一部を補助する。</p> <p>1 健康診査</p> <p>①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者(生活習慣病治療中の者、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)は除く)</p> <p>②補助内容 事業にかかる経費のうち、健診受診者数×補助単価(28,326千円)</p> <p>③補助率 国が定める補助単価の3分の1(国1/3、県1/3)</p> <p>2 歯科健康診査</p> <p>①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者を除いた75歳到達者</p> <p>②補助内容 事業にかかる経費のうち、歯科健診受診者数×補助単価(1,395千円)</p> <p>③補助率 広域連合委託契約単価の3分の1(国1/3、県1/3)</p>												
[受益者] 県内の後期高齢者医療被保険者						[想定される受益者数] 約20,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	保健事業の実施主体は、保険者である広域連合であるが、広域連合の体制では事業の実施は困難なため、各市町が実施する事業に対して補助を行っている。 県内のどの医療機関でも健診を受診できる体制整備を支援している。					他県の状況	<input type="checkbox"/> 健診事業に対する補助実施都県…7都県 東京都、富山県、石川県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県  <input type="checkbox"/> 歯科健診事業に対する補助実施県…5県 富山県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県					

## 後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	平井 芳和	
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	20 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
区分	事業費	国庫	起債	繰入	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	29,721				11,461	18,260	高齢者保健福祉基金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	38,511	40,203	42,986	42,660	29,721	・重複・頻回受診者の訪問指導事業への補助を廃止						
2月現計予算額の推移	33,970	37,355	41,212	34,015								
決算額の推移	33,878	36,646	38,294									
前年度までの 主な増減理由	・健診受診者数増による補助額の増											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	1人当たり後期高齢者医療費 (目標) 実績							当該年度の医療費÷当該年度の平均被保険者数 (厚労省発行「後期高齢者医療事業年報」)				
活動指標	後期高齢者健診受診率 (目標) 実績	(70.0%) 43.0%	(70.0%) 44.4%	(70.0%) 46.8%	(70.0%)	(70.0%)		第3次医療費適正化計画期間中(平成30年度～令和5年度)に定める目標値70%の達成 健診受診率＝後期高齢者の健康診査受診者数÷健診受診対象者数×100				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
健診受診率について、令和元年度においては、前年度より2.4%上昇したが、第3次医療費適正化計画に定める目標値(受診率70%)と実績値(46.8%)は乖離している状況				第3次福井県医療費適正化計画に定める目標(後期高齢者健診受診率70%)を目指し、引き続き広域連合を財政支援する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 12,939	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	平井 芳和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 人生100年時代の健康ライフスタイル ]				関連する県の計画等			[ 第4次元気な福井の健康づくり応援計画 ]				
[解決すべき問題・課題]												
人生100年時代を健康に過ごすためには、オーラルフレイルを予防し、健康な歯を維持する必要があるが、本県においては、3歳児より後の年齢で全国に比べてむし歯率が高い状況が続いている。3歳児以降のむし歯率を減らすために、より早い時期からのむし歯予防対策が重要である。												
[事業目的]												
早期からのむし歯予防として家族みんなで口腔内を清潔に保ち、むし歯になりにくい生活習慣定着への意識改善を促す。また、県・市町・歯科医師会で課題や方向性を把握し共通認識を持つ必要があるため、県・市町・歯科医師会・県民一体となって歯の健康づくりを推進する。												
[事業内容]												
<p>(1) パートナーおよび祖父母の無料歯科健診の実施(県歯科医師会委託)</p> <p>対象者: モデル地域(嶺北・嶺南各1か所)で1歳6か月児歯科健康診査を受診した乳幼児の保護者のパートナーおよび出産後子育てに関わる祖父母 約900人 (1歳6か月児歯科健診対象者数(H30越前市): 626人 (H30敦賀市): 550人 20歳以上で過去1年間に歯科健診を受診した者の割合(H28): 48.6%)</p> <p>内容: ①1歳6か月児歯科健康診査時に、受診券を保護者に配布 ②パートナーおよび出産後子育てに関わる祖父母に対して、歯科健診と子どもの接し方等の歯科保健指導を実施 ③健診受診時と健診受診後(半年後)にアンケートを実施し、意識や行動の変化を評価</p> <p>(2) 市町研修会の開催</p> <p>対象者: 歯科医師会(県・各支部代表)、各市町歯科保健担当者、各健康福祉センター 内容: 歯科保健有識者による講演、グループワークによる研修会</p> <p>(3) 「フッ化物洗口」実施(①は県歯科医師会委託、②は県で実施)</p> <p>①保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大 ②4、5歳児むし歯有病率調査 公的な統計のない4、5歳児のむし歯有病率を調査し、フッ化物洗口の効果について評価</p> <p>(4) マイナス1歳からのむし歯予防事業(県歯科医師会委託)</p> <p>対象者: 母子手帳交付後から出産後1年以内の妊産婦 内容: 母子手帳に妊産婦歯科健診の案内を追加し、歯科医療機関で歯科健診を実施 目標: 受診率30%</p> <p>(5) オーラルフレイル予防等に関する検討の実施</p> <p>県歯科医師会と生涯を通じたむし歯や歯周病、オーラルフレイルの予防に向けた検討を進める</p>												
[受益者] 県内妊産婦、パートナーおよび祖父母、4歳～小学生以下の子ども						[想定される受益者数] 約14,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト (実績) 妊産婦歯科健診受診率 27.7% (1,471人) フッ化物洗口施設実施率 46.4% (148施設)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	1歳6か月児歯科健診時に乳幼児の家族に対する受診券やリーフレットを配布し、啓発 母子手帳交付時に妊産婦無料歯科健診の案内を追加 市町児童福祉主管課を通じてフッ化物洗口の実施を呼びかけ					他県の状況		[R元 むし歯のある6歳児の割合(%)] 全国: 40.2				

## 人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	平井 芳和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	14,207	1,068			13,139		医療施設運営費等補助金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						14,207								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	6歳児のむし歯有病率(%) (目標) 実績					-								
活動指標	パートナーおよび祖父母 の歯科健診受診者数(人) (目標) 実績					-								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				